



潮来市

平成13年7月

第102号

議会だより

発行責任者 議会議長 中野庄吾

編集者 議会広報編集委員 〒311-2493 茨城県潮来市辻626 電話0299-63-1111 (FAX) 0299-80-1100



第二回定例会

○定例会概要 …………… 2～3	○議会行事等 …………… 21
○平成13年度予算 …………… 4～5	○議会を傍聴して …………… 23
○一般通告質問 …………… 6～19	○議会へ一言 …………… 24
○議員活動日誌 …………… 20	

第二回定例会

こんなことをきめました

平成13年度一般会計予算など28議案を可決

第2回定例会は、5月29日から6月8日までの11日間にわたり開催されました。主な議案は、報告6件、条例の制定改正8件、予算10件、認定1件です。一般通告質問については、7名の議員が登壇し、39項目について執行部の所信が問われました。

退職報償金支給表

(単位：円)

階級・年数	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団 長	181,000	286,000	401,000	536,000	721,000	921,000
副 団 長	171,000	271,000	371,000	476,000	651,000	851,000
分 団 長	161,000	256,000	351,000	451,000	601,000	791,000
副分団長	156,000	241,000	326,000	416,000	566,000	751,000
部長及び班長	146,000	221,000	296,000	376,000	506,000	676,000
団 員	136,000	206,000	276,000	351,000	461,000	631,000

潮来市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部が次のように改正されました。この条例は平成十三年四月一日から適用されます。

条例改正

市道路線の認定

路線名	起 点	終 点	幅 員	延 長
市道(潮)1628号線	延方字野中 1814 番地先	延方字野中 1807 番地先	4.1 ～ 6.4 m	35.2 m
市道(潮)1629号線	潮来字柳町 7419 番 4 地先	潮来字柳町 7419 番 2 地先	3.9 ～ 4.1 m	49.0 m

次の路線が認定されました。

市道路線の認定

請願の審査結果

受付番号	件 名	結 果
請 願 第 1 号	激増する輸入農産物を抑えるため、一刻も早い「緊急輸入制限」(セーフガード)の発動と対象品目の拡大を求める請願	不 採 択

予算特別委員会を設置

平成十三年度潮来市一般会計
予算ほか特別会計及び企業会計
の十議案については、十九名の
議員で構成する予算特別委員会
を設置し、委員会に付託し審議
いたしました。

委員長には、小峰義雄議員、
副委員長に大崎武夫議員が選出
されました。平成十三年六月六
日に委員会が開催され、各委員
と執行部による質疑応答が行わ
れ、慎重に審査した結果、平成
十三年度予算の十議案は賛成多
数により原案をすべて可決いた
しました。



会議経過

五月二十九日(火) 本会議

開会

市長施政方針

提出議案審議

出席議員 三十二人

(傍聴者) 一人

五月三十日(水) 本会議

議案審議

予算特別委員会付託

出席議員 三十三人

(傍聴者) 〇人

五月三十一日(木) 本会議

市政一般に関する質問

出席議員 三十三人

(傍聴者) 二十八人

(五名)

六月一日(金) 本会議

市政一般に関する質問

出席議員 三十一人

(傍聴者) 二十七人

(二名)

六月二日(土) 休会

六月三日(日) 休会

六月四日(月) 委員会

総務委員会

教育福祉委員会

六月五日(火) 委員会

環境経済委員会

建設委員会

六月六日(水) 委員会

予算特別委員会

六月七日(木) 休会

六月八日(金) 本会議

予算特別委員会付託審査報告

追加議案審議

請願審査

閉会

出席議員 三十三人

(傍聴者) 〇人

第二回定例会の傍聴者は、五十六人でした。

計予算

万円

“水辺などの自然を活かし、さまざまなか
ふれあいのある、住民が豊かさを
実感できるまち”の実現

主な施策

一、都市基盤の整備

- ◎前川周辺整備基本計画に基づき景観整備
- ◎大門河岸整備事業
- ◎水辺の街再生事業
- ◎まちなか回遊まちづくり事業
- ◎水郷県民の森整備事業の早期完成
- ◎ポケットパークの整備
- ◎交通体系の整備

二、生活環境の整備

- ◎リサイクルセンターの有効利用とゴミの減量化、資源の確保
- ◎ダイオキシン恒久対策施設改良工事
- ◎高速バス停留所の整備

三、教育・文化の振興

- ◎安定した給水と効率的な水道事業
- ◎潮来第一中学校新校舎での授業開始（十二月）
- ◎牛堀統合小学校の実施設計
- ◎潮来第二中学校改築工事に向けた調査
- ◎中学校学習指導員の配置
- ◎市立中学生のサンアントニオ市への派遣
- ◎インターハイ推進室の設置
- ◎「心の教室相談員」と「市教育相談室」との連携強化
- ◎スクールカウンセラー派遣事業
- ◎家庭相談員との連携
- ◎元気づけ体験村事業
- ◎まちづくり出前講座
- ◎IT推進事業

四、保健・医療と福祉の充実

- ◎IT講習会の開設
- ◎福祉事務所の設置
- ◎介護保険事業
- ◎保健予防事業
- ◎高齢者・障害者の福祉支援事業
- ◎社会福祉協議会の整備
- ◎人間ドック検診に対する助成
- ◎健康講座（歩け歩け運動）の開設
- ◎子育て支援の充実
- ◎結婚対策事業

五、産業の振興

- ◎民間企業の誘致
- ◎農地の保全と大規模経営者となる担い手の育成
- ◎道の駅「いたこ」の推進

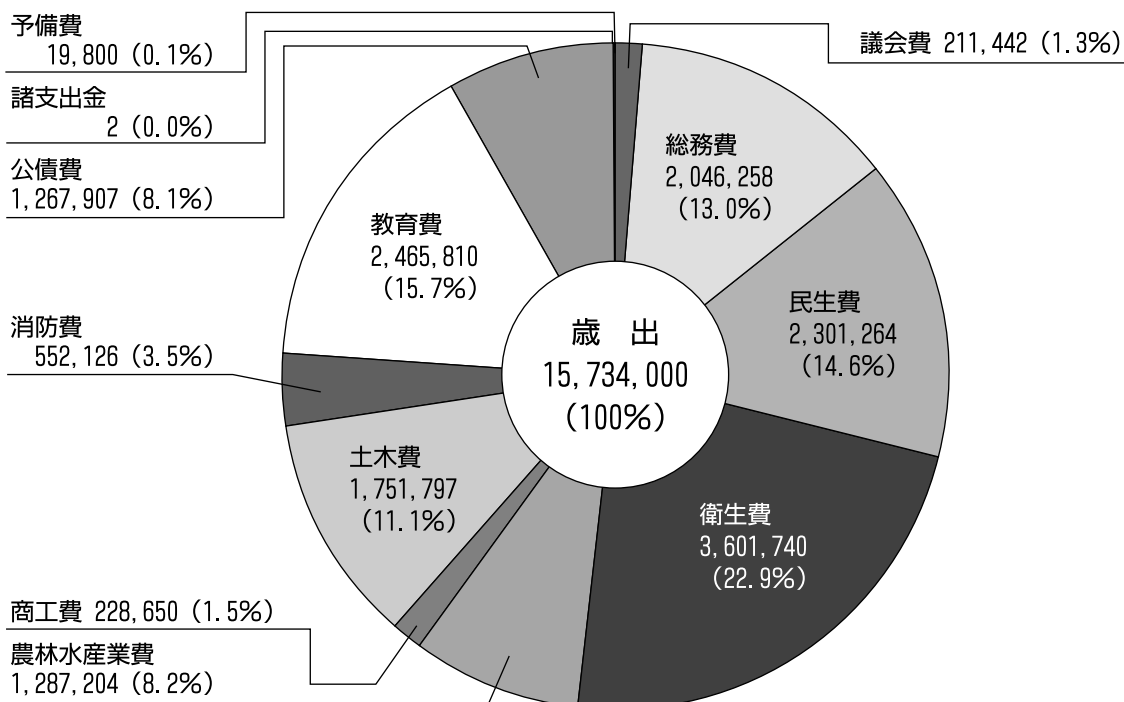
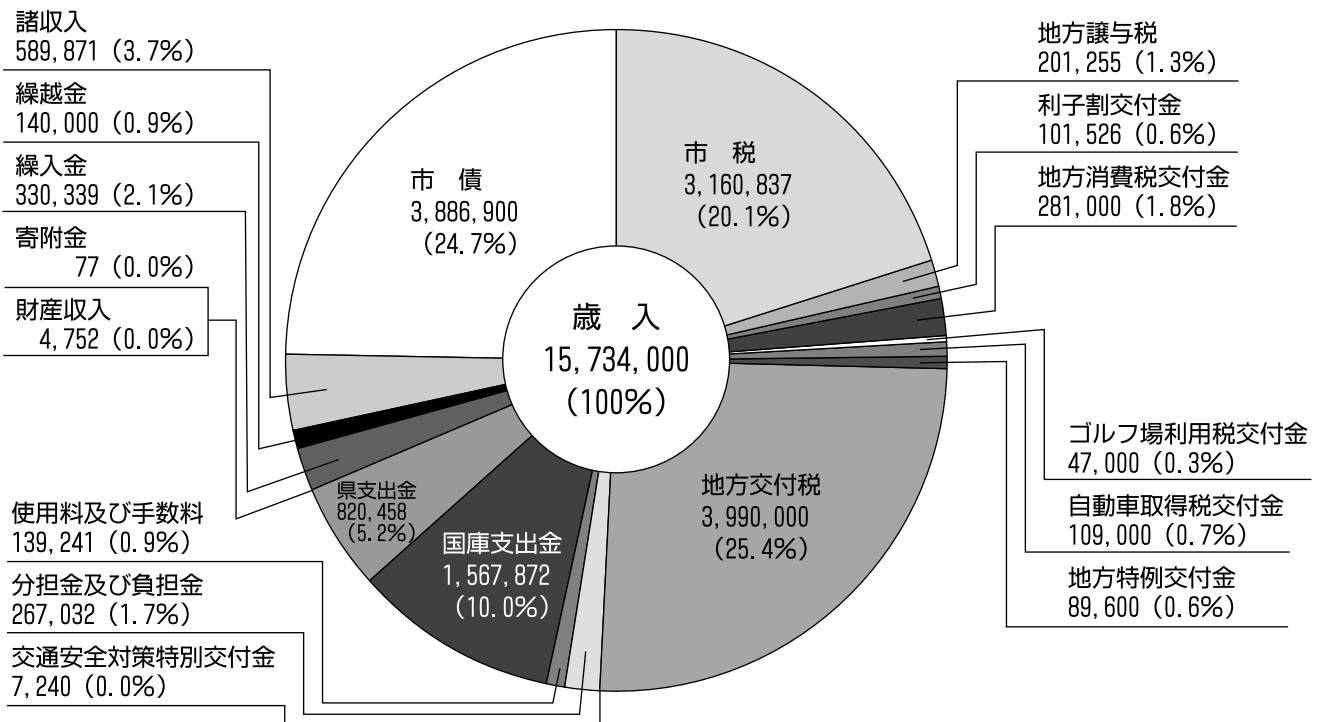
- ◎潮来市誕生記念を兼ねた記念事業の実施
- ◎潮来節全国おどりの響演大会
- ◎水郷牛堀花火大会
- ◎リバーサイドパーティー
- ◎ふるさと館の運営
- ◎ボランティア連絡協議会の設置

- ◎既存商店街活性化支援制度の設置

平成13年度 一般会

157億3,400

平成13年度 潮来市一般会計歳入歳出当初予算各款占拠率図解



(単位：千円)

一般質問

市政の課題を問う（要約）

一般質問の質問・答弁は
質問者が編集したものです。

PFI方式と 新庁舎建設について

内田 正一 議員



PFI方式を検討、
導入する考えは

内田議員

本市においては本庁舎（潮来）支庁舎（牛堀）になっておりますが、今後、老朽化が進んで参ります。市民の利便性を考えた時、市庁舎統合一本化は避けて通れない課題であると思っております。数年後には当市も新庁舎を建設しなければならぬ時が来ると思いますが、効率化や財政負担の軽減につながる、PFI方式を新庁舎建設に検討、導入する考えはありますか、伺う。

建設が明確にできれば
検討したい

本宮企画部長

法律で民間の資金の活用による公共施設、整備の促進に関する法律が平成十一年九月二十四日施行されている。茨城県におきましては、日立那珂港北埠頭公共コンテナターミナルが全国に先がけて施行されています。潮来市におきましての新庁舎建設であります。いろいろな角度から検討して行くわけですが、これも、もし建設と言うようなことで明確にできれば、このPFI方式の導入も検討していきたい。これまで合併建設計画の中にこの事業が盛り込んであると言うことは、一方で起債の対象になると言うこともございますので、普通では庁舎の建設につきましては起債の対象にならない訳で、こういったメリット等もありませんからいろいろと比較、検討しながら進めて行きたい。現段階では新しい庁舎のあり方、一定の方向性で本年度は検討して行

潮来市役所 本庁舎



きます。



牛堀支所

一般質問

担当課に指示 調査はしてきた

今泉市長

現在牛堀支所におきまして教育委員会、地籍調査課、農業振興課、市民福祉課という変則的な行政を行っている所であります。市民の皆様から支庁部局が離れているのでいろいろな点でのご意見を頂いております。前期に二百億弱の中の三十億という膨大な数字でありますので、当然財政上から検討していかなければなりません。昨年十二月PFI方式をマスコミ等で知りましたので、担当課に指示を致し、調査はしてきたところであります。小さな政府というイギリスで法案された方式であります建設に関してPFI方式を私はしたいと考えております。どれだけの組織ができるのか問題がございますし、当然民間のリスクというのもございますので、さまざまな観点から議論をしなければならぬと思います。本年度に建設の事前調査であるとか、PFI方式が可能なのか、地元建設会社はどうなのか、さまざまな議論をして、どういうふうな方向がいか検討をした所でございますが、確定ではございません。

農用地区域内にふれ あい広場の設置を

内田議員

農作業を行っている人達が食事をしたり、談笑をすることが出来るような「ふれあいの施設、広場」があれば大変助かると思います。また農業体験が出来る学童農園を施設近くに作り、児童達が利用しやすければと思います。当市（旧潮来、旧牛堀）の農用地、区域内にふれあい施設、広場の新設が必要であると思いますが、どのようにお考えですか伺う。

実現に向けて要望

尾辻農業委員会事務局長

農業委員会では、毎年市長及び議長に対し建議を行っております。女性農業委員の早期実現、道の駅、ふれあいひろばの設置、この中で女性農業委員の実現については市長及び議会議員の方にはご協力を頂き実現を致しました。農用地区域内にふれあい広場についても設置を実現できますよう要望しているところでございます。

本年はトイレの設置 を計画

岡野環境経済部長

鰯川の一号堤に平成八年から水環境整備事業を茨城県が実施し昨年完成しております。ただし、トイレがございません。本年にトイレの設置を計画しております。道の駅も当然休憩室でありますので、来年四月にオープンしますので、地域の農家の方にも十分利用できると考えております。小学生の稲作作りであります。現在、延方小、徳島小、大生原小で実施しております。ほかの学校でも要望があれば充分検討したいと考えております。

ご当地自動車新ナンバーについて

内田議員

現行の自動車のナンバープレートが緩和され、地元が希望すれば地域名を表示したご当地ナンバーが使えるよう関係機関で検討を始めたようであります。官民一体となって、自動車ナンバーを（仮称）潮来にする事で、このご当地自動車ナンバーは潮来市を大きくアピールすることが出来ると思います。ご当地ナンバーをどのようにお考えですか伺う。

潮来では非常に厳しい

本宮企画部長

二〇〇三年の自動車登録検査業務電子情報システムの方針に合わせて、地域名標示の再分化について検討されると言うこと。この様な質問がありまして陸運局水戸支局に問い合わせしたところ、茨城では要望はありませんが、平成十五年にシステム更新化される中で、ナンバー活性化検討委員会が設置されまして、この中で見直しの検討項目の一つとして取り上げられました。その検討委員会の中では地元住民の費用の負担、手続の問題、地域の登録の台数、規模によって鹿行地方潮来では非常に厳しい。国土交通省技術部では昨年六月頃、観光アピールのため強力に要請した経過がありますが、現在では沈静化しております。茨城では水戸と土浦が別れたばかりで、これ以上の開設は困難である。観光地名をそれぞれ登録した場合、バイクのナンバーと同じ様になって、住所が変わった場合、混乱します。潮来市観光のイメージアップ、知名度のアップが図られるわけですから、潮来市を大きくアピールできると思いますので、今後この様な情報、動向を見ながら実現性があれば当地におきましても積極的に検討して行きます。

一般質問

新生潮来市の 将来像と現況を問う

長谷川 幸雄 議員



財政硬直化を避ける 努力を

本宮企画部長

本年度予算百五十七億については、特別会計の廃止に伴う繰入金等と牛堀町の出納閉鎖後の支払い分が含まれて大きくなりました。

起債残高は、年度末、二百億円台になります。市民生活の充実のため、今後は有利な合併特例債の活用を促し、財政硬直化を避けたい。経常収支比率八〇％。ラスパレス指数一〇〇を目標に努力します。基金は、三十五億円余ですが、運用に関しては、目的、経過等を充分考慮します。

財政状況全般について

長谷川議員

合併の大きな目標の一つである効率の良い行財政運営。具体的には、経費削減が大きなポイントであると思う。

景気の不透明感の残る昨今。自主財源の柱である市税（三十一億円）も、前年度より五％の減と落ちている。執行部の財政に対しての目標を通常のな数値で表して欲しい。

合併に伴う施策 市営美術館について

長谷川議員

潮来と牛堀の隣接する地域に、県指導の美術館ということが話題にあるが、構想の出所、執行者としての取り組み方を問う。

市営美術館は慎重に 対処

今泉市長

この件は、知事、牛堀町長、潮来町長（私）の合併支援の協議上、知事の構想から出たもので、今後、議会、各市民の方々に協議をしていただき、地元としての結論を出したい。現在分かっていることは、運営面で市が管理費を出すということなので、財政難の折、慎重に対処したい。

道路整備について

長谷川議員

ゴミ処理、し尿処理、上下水道と充分行政の恩恵に欲している。あとは、生活関連道路の整備である。市の中心部に向けた改良工事を早急に取り入れるべきであると思うが。

合併効果の出る道路 行政を

鈴木建設部長

充分考慮して、牛堀からの改良工事の延長等、合併して良かったと思われる道路行政をします。

指名入札関係について

長谷川議員

市では、建設業法に準じた建設行政を施行しているが、ランク別指名は、県のランクか、市独自の査定をしているのか、また、委託工事との関連性は。

市独自のランク制

箕輪総務部長

市の査定による独自のランク別制を執っています。他地域性、関連性も考慮に入れて、指名選考しています。委託工事は、ランク外でも指名願いを出している業者と契約しています。



市有車の実態について

長谷川議員

市民の方々に、一番目につくのが公用車である。総数、耐用年数、管理等を質問する。また、住民サービスの低下にならない台数の確保はどう考えるか。

将来的に減車の方向

箕輪総務部長

一〇〇台の公用車で、潮来本庁八〇台、牛堀支所二〇台です。耐用限度は、十年で十萬キロを目標にしています。経費節減のため、将来的には減車の方向で考えております。

公用車



ハイブリッド車の導入

一般質問

道路整備について

吉川 菊夫 議員



十二年度からの継続 工事は

吉川議員

現在、平成十二年度より継続して工事が行われている市道は幾つの箇所がありますか。

旧潮来三ヶ所 旧牛堀六ヶ所

鈴木建設部長

旧潮来側については、一級路線では三ヶ所です。路線番号一の一大生原小学校の通学路です。路線番号一の三県道築地矢幡線で潮来カントリーに抜ける

道路です。路線番号一の十六徳島小学校付近の通学路です。その他で路線番号八三〇潮来一の進入路です。

旧牛堀側については、六路線です。路線番号一の二清水坂下より三熊神社までです。路線番号一の五権現山に通ずる入口道路です。ショッピングセンター交差点の反対側になります。路線番号二の県道神栖線の交差する一の八路線のクリーンセンター前です。路線二の四は牛堀中学校付近の道路です。その他で路線番号三〇三〇市営墓地に進入する道路です。路線番号四〇七一で一の八の集落センター付近です。路線番号四一二八でかすみ保健センターから大久保十三番です。先ほど指摘の路線番号一の八については、地元区長より要望がありました。用地の面で支障があつては進まないで地元でよろしくお願ひしたい。現在検討中です。

潮来側が出来ないのは

吉川議員

市道旧牛堀二級三号線江寺築地間旧潮来側が出来てないのは何故なのか。

地元と協議中

鈴木建設部長

以前に牛堀より接続の話がありました。地元と話し合いを持ちました。地元の意見としては、幹線道路が地区内の住宅地を通るのはどうかの話も出ました。裏の山側にバイパスを作つてはどうかの話も出ました。現在、地元との説明会を持って話をつめてみたいと思つています。

道路の補修について

吉川議員

四m以下の道路、二・七m(九尺)道路でも、生活道であれば補修してもらえないか。

必要性があれば考える

鈴木建設部長

潮来市では、四m以上の道路であることを条件に整備する。建築基準法、消防法、都市計画法で原則的に中心より二m逃げるとなつて居ります。客観的に

ではありませんが、見て必要性があれば四m以下でも考える。

再質問

吉川議員

四m以下の道路であってもボランティア地区住民が出れば、資材は提供して頂けるのか。

答弁

鈴木建設部長

市道としては、原則として四m確保ではありますが、四m以下でも将来拡幅につながる路線であれば資材は提供いたします。

メインになる道路計画は

吉川議員

計画路線で、今後市でメインになる道路計画はあるのか。

潮来駅前より江寺線

鈴木建設部長

国道については東関東自動車道水戸鉾田間について用地買収に入る所まで進んでいる。潮来鉾田間については、計画区間でありまして毎年国に要望している所です。県道繁昌牛堀線については、県議会議員の先生方に頼んで進んでいます。県道龍ヶ崎潮来線延方干拓から国道五一号線にシフトして県道佐原線繋

ぐワールドカップ道路です。国道三五五線については、牛堀側バイパスを進めているところですが、潮来市でメインになる道路は、潮来駅前より江寺線であり、右側にシフトして、築地団地に向かう線と牛堀側に向かう線があります。牛堀環状道路現在国道三五五線を起点して夜越川を通った堀之内一部市の一の五号線、先日開通した二一六四号線であります。これから先の堀之内側、県道繁昌牛堀線を横断して一の三号線クリーンセンターに通じる道路を個々に改良を進めているところです。クリーンセンターに繋ぐ一の八線で関連する台上戸島須に通じる生活道路で計画的に進めているところです。

道路工事の優先順位は

吉川議員

道路工事の順位において、地域住民区長などの陳情での順番はどうなっているのか。

要望の中からピックアップして検討

鈴木建設部長

都市建設課には、年間五十億位の要望が上がって来ています。この中からピックアップしてどの地区を優先するか検討い

たしまして進めています。旧牛堀から合併に伴って上がってきたものについては、緊急性のあるものから優先することを考えています。

開通式



開通した市道(牛)2164号線

住みよい地域環境づくりと

「心の教育」の重要性

杉本 俊一 議員



水辺の街再生事業
具体的な内容は

杉本議員

潮来牛堀が合併して、共通の河川整備で、水郷にふさわしい水辺空間の創造を図る「水辺の街再生事業」とは、具体的にはどのような内容か伺う。

活力と魅力あるまち
づくりを

本宮企画部長

潮来市は、水や水辺とは切っても切れない地域である。前川周辺基本計画、旧牛堀町水辺の街再生事業を潮来市建設計画に

盛り込んだ。その中で水辺の街再生事業とは、今年度国土交通省が牛堀地区常陸利根川沿いのサイクリングロードに三ヶ所のポケットパークの整備をする。今後牛堀地区常陸利根川河川、中心市街地、権現山周辺一帯の整備をして、活力とやすらぎのある魅力ある街づくりをしていく。

再質問

杉本議員

「道の駅」から観光客をあやめ園やまちなかへ誘導する「川の駅」として水上バスの早急な整備をすべきと思います。いつ頃整備できるか。また観光農園予定地が「不良資産化」しているというのはどういうことか伺う。

答弁

今泉市長

近い将来水上バス構想として道の駅周辺、前川周辺、津軽河岸、大門河岸、仙台河岸の整備ふるさと館、水郷北斎公園など一連の水辺の周遊コースを作り、観光に少しでも寄与できればと

考えている。観光農園予定地の不良資産化については、毎年一千万円の管理費がかかり、延方千拓土地改良区に今年度最終で補償金二千万円、計画ができてから合計二億円支払ってきた。

予定地には全体で二十億近くの投資をされているところであり、市の財政状況に対する影響は計り知れないものがあるのも事実です。今後、企業誘致や有効利用を図って行きたい。

高速バス停留所早急な改善整備を

杉本議員

水郷有料道路沿いの高速バス停留所の改善については、長い間検討してきたわけですが、整備が遅れた理由と今後の進捗を伺う。

今年度中に方向性を
検討

本宮企画部長

バス利用者の利便性と安全性を考え、駐車場を有するターミナル機能を持つバスターミナルを道路公社と共同で整備することと検討を行うことになった。位置の検討と費用の負担を引き出す交渉に時間を要した。今年度中に、市の財政負担を極力おさえながら方向性を検討していく。

要望

杉本議員

市民の長い間の願いである。早急な整備をして頂きたい。

青少年健全育成の心
豊かな人づくりとは

杉本議員

次世代を担う子供達を明るく健やかに育てる為の教育の充実として心豊かな人づくりについて伺う。

様々な相談事業を行っているが、それぞれの活動内容、利用者数、特に多い相談内容と対応について伺う。

学校建設が進む中で、効率的な行政運営として年間一カ月半利用の為の学校プールの建設は無くして、市営プールを利用し年間を通して市立小中学校の児童生徒の水泳の指導の充実、プール維持管理費の削減になるのではないかと思うが市の考え方を伺う。

今年度教育の柱「心
豊かな人づくり」を

吉田教育部長

心豊かな人づくりを十三年度の柱として、①生徒指導の充実②心の教育、人権教育の充実③地域各種団体との連携④体験学習等の推進⑤進路指導の充実を

推進して行く。

教育相談室は平成七年度開設し八年度は八百件の相談があり、その後は減少、内容は不登校ケア相談、情緒不安定、生きがい不安、先生方の相談が増えている。スクールカウンセラーは学校における相談業務で年間六〜七万件利用、心の相談は生徒のみじかな相談で四百七十五件、家庭児童相談は福祉事務所開設しています。

プールについては、費用の負担等も考え、出来る限り温水プールで対応し、今後プール建設はしない考えである。

再質問

杉本議員

家庭においていつしか心を通わすだんらんの場がなくなり、家族という意識さえ薄らいで心の支えとなるより所がなくなってきたいます。いかにすれば家庭が本来の安らぎを取り戻せるか。一番大切な家庭として地域、学校のあり方など市として話し合いの場がもたれているのか伺う。また、中学校学習指導員の配置は大変良いが、いかに成果をあげられるかが課題であります。日の出中学校は今年度担任二人制を取り入れ、一層の充実ができるのではないかと期待する

必要生活道路の早急な整備を

杉本議員

合併前に、日の出四車線道路を県道に移管して整備をするとういう件について、合併特例として県に要望してあると思うが、県の対応は。

県道移管はむずかしい

鈴木建設部長

県へ要望しているが、県道への移管はむずかしい。

再質問

杉本議員

是非でも県道移管できるように働きかけて頂きたい。早期整備は日の出地区住民の願いであります。又移管できない場合の整備をどうするのか市の考えを伺う。

答弁

鈴木建設部長

今後とも県に積極的に要望していく。道路整備については、計画的に整備していく。

今泉市長

今年度、水郷有料道路から日の出までの市道を整備する。県道移管については、積極的に

雨水排水対策の進捗状況は

杉本議員

平成十一年の集中豪雨により大きな被害をうけ、地域ができる対策として、昨年八月の三日間、大変暑い中日の出三〜六丁目地区内の側溝の清掃を多くの地区住民と企業と町職員で実施し、その後、日の出八丁目が今年一月と二月に同様に実施した。側溝は大変きれいになり、今後少しずつやろうという意識が出来たことは良い結果であったと思う。今までの雨水対策実施の状況と今後の対策を伺う。

様々な方向より調査実施をしている

鈴木建設部長

水抜き、ますの設置は、六十ヶ所、今後も増設していく。十二年度何が原因か調査し、雨水排水路の土砂の堆積、ポンプ能力の低下が原因、十二年度よりポンプの更新をする。地域のコミュニティの確立が大きく

成長している。幹線排水の土砂上げを今後進めていく。水位ゲーターの観測施設がなかったので、調整池と放流地十番水門に設置、水門の開閉も今年度予算で自動に改修する。排水体系も中心調整池に入る水の量を調整し、土地改良と協議をして外周に出せないものか調査している。

再質問

杉本議員

雨水排水の外周の幹線排水溝の鉄板の老朽化はどのように考えているのか伺う。

答弁

鈴木建設部長

順次対応していく。

(その他の質問)

◎日の出三角池、ひょうたん池のボラの酸欠死については、魚の外側に付着した水性菌の為に毒物死ではない。現在研究調査中である。

牛堀地区防災無線に 個別受信方式を図らりたい

黒須 渡世栄 議員



反復騒音障害のない 個別受信方式を

黒須議員

現在、設置されている防災無線支柱方式は、反復障害自動車騒音等で、聴き取り困難な所も生じることから、牛堀地域防災無線設置に個別受信方式を検討されたい。

個別受信方式も検討 したい

箕輪総務部長

現在、潮来市内に設置されている防災無線においても聴き取

り難い点もでており、今年佐原市で個別受信方式を取り入れていると伺い内容等を研究し、個別受信方式を取り入れていきたいと考えております。

ヘルスランドさくら 施設改善を

黒須議員

現況利用客から見て、風呂、洗面、脱衣場等が大分狭くなっており、施設に於いても老朽化が進んでおり、改善が考えられます。また飲食施設、七十歳以上の方に当日入湯申請書の記入

には高齢者のため申請書記入には大変であります。入湯証明書の発行を図りたい。

施設増改築には起債 繰上償還を

岡野環境経済部長

平成五年四月に建設され、八年起債事業により建設されております。施設増改築に於いては、起債繰上償還が必要とされており、改善に当たっては一般財源以外にないと考えます。更に七十歳以上の方については、緊急時に連絡先確認の為に、窓口申請を取っていたが、入湯証明書の発行を考えていきたい。

潮来市マル福所得限 度額は

黒須議員



防 災 無 線

幼児医療費無料化の範囲を潮来市は、義務教育就学前まで拡充することになりましたが、共働きが一般的になってきている現在、県の所得限度額三百九十三万円は低すぎる。潮来市マル福制度所得限度額について伺う。

県所得限度額を基準に

内田福祉部長

幼児医療費無料化制度は、県補助事業で合併ソフト事業の少子化対策の一環として、今年十月から義務教育就学前まで対象年齢の引き上げを実施します。この制度は、県の所得限度額を基準に決定しますもので、晩婚化、共働きによって限度額を越えて該当しない場合もあるが、扶養親族数によって所得上限もあり、児童手当の制限が緩和され対象者拡大が図られ、制度緩和について県に働きかけて参ります。

なめがた地域総合病 院医療体制を問う

黒須議員

なめがた地域住民待望の総合的な医療機関として誘致が実現、周辺住民の医療体制の充実に期待するところであります。二十四時間診療体制について伺う。更に、三月決算で十一億の

赤字が生じたとの新聞報道であるが現況について伺う。

十三科常勤医師十八名体制で

内田福祉部長

医療体制は、内科、小児科、外科更に耳鼻咽喉科も設置され、十三科、常勤医師十八名で各診療科一名体制で、内科小児科整形外科二名体制で診療。当院は順番制で、休日・夜間の緊急患者の受入を図っております。また十一億円の赤字が生じた原因は、昨年オープンして計画ベット数の半分の稼働率というところで、四年後を目途に黒字に転ずるものと思われま。今年三月末に緊急病院の指定認可を受け、二十四時間医療体制の充実を図って参ります。

焼却場ダイオキシン恒久対策

黒須議員

焼却場施設改善については、昨年度より二ヶ年に渡り排ガス高度処理改善整備が進められ、ダイオキシン恒久対策改良工事が進められておりますが、完成後のダイオキシン濃度数値の抑制数値を伺う。

完成後のダイオキシン数値は〇・五ナノグラム

岡野環境経済部長

整備改良の理由については、ダイオキシンガイドライン恒久対策及び産業廃棄物処理法の改正に基づき、構造基準に対応するための整備であり、施設完成後のダイオキシン抑制濃度数値は〇・五ナノグラムになります。



ダイオキシン対策工事



住民の安全、
通学児童・生徒の安全のために

沼里 潤三郎 議員



津知小下砂利採取計画と
住民・児童生徒の安全は

沼里議員

桜川村(有) 幸新取材、代表
金山貢大、代理人酒井勝男(麻
生)で県鹿行総合事務所へ津知
小北西側プールすぐ下の砂利採
取計画が出されている。後明区
第十九班住民へ酒井氏が説明し
たところによると、これから十
年以上に亘って、日曜日を除い
て一日約二百台の大型ダンプが
早朝六時より通るといふ。業者
はすでに住宅地区のご真中の私
道部を高く買上げ、四月末にす

ぐに仕事が出来る段取りがつい
ているかのごとく、住民を脅し
たという。これはおかしな話だ。
当初これは「土採取計画」とし
て潮来町へ出されたものだ。場
所は江寺下の扇台遺跡と牛堀の
御殿山貝塚がソックリ一山消滅
させる計画。10haを十年以上か
けてダンプで運び出す計画とし
て出された。当時の町としても、
この計画には疑問をもち、遺跡
の調査をしてからでないとダメ
だ。この調査には五千万円から
数千万円かかると「指導」した。
その時、酒井氏はそれでもやる
といったという。先に紹介した
高額で私道部分を買収取った事
といい酒井氏等の本意は土採り
でも砂利採りでもなく、遺跡や
潮来の自然環境をソックリ破壊
する大規模開発そのものにある
事は明らかだ。第一彼等が県へ
出した計画では遺跡を巧みに避
け場所も津知小近くに押し、規
模も八八〇〇㎡となっている。
10haで十年かかるなら、これだ
と十ヶ月で終わる計算になる。
住民への説明と矛盾する。議会

の全協でも砂利採りの跡に何を
入れられるのか分かったもので
はないという意見も出された。
ダンプが通る道も県道潮来く矢
幡線へ出るまでが二転く三転し
た。地元の強力な反対にあった
ためである。この地域には、能
房遺跡、塔の上貝塚、狭間貝塚
等が集中する潮来としても貴重
な文化遺産の場所である。一日
約二百台の大型ダンプが十年以
上に亘って通ることは異常であ
り住民はタマツタものではあり
ません。又行方縦貫道から江寺
坂下そして県道潮来く矢幡線か
ら津知小学校、潮来一中へ通う
児童生徒は毎日四五〇名を越え
ています。津知小PTA、津知
地区代表区長からは昨年中に絶
対反対の請願が出され、潮来町
議会も全員一致でこれを採択い
たしました。潮来駅前く行方縦
貫道川尾入口の計画道路が彼等
の当初計画の中をチャッカリ
通っている点をも酒井氏の
意図は明らかです。こんな計画
を許せば(質問には遺跡地図、
道路計画図と当初計画を重ねた
もの、県へ出した計画図を添
付)遺跡は破壊されその被害は
石田川を流れて潮来本町前川に
も及びます。行方台地が破壊さ
れます。特にダンプの出入口と
なるところは道も狭く見通しも

悪く曲がりくねり、反対側は一
段下った田であり逃げ場もない
危険なところですよ。江寺坂下
のところも危険です。住民の方々
は必死で反対署名を集め二〇一
八人の署名を携え、津知小PT
A代表、潮来一中PTA代表
(PTAでは各後援会長の潮来
市連P会長の連判状、津知地区
区長の連判状、牛堀中PTAの
連判状を携え絶対許可しない様
要望)と津知地区代表区長(新
町)、副代表区長(築地)後明
区長、将監区長と私と共に絶対
に業者に許可を出さない様に鹿
行総合事務所長へ強く要望を
行った。市としてはどの様な意
見書を県へ出したか。もし「許
可」となった場合(我々は差し
止め訴訟で争う)どの様な住民
やPTA・区長会への支援を行
うか。訴訟以外にも、市道の通
行を許さない等の実質的業務遂
行が出来なくする方法等もある
と思うがどうか。

**絶対許可しない様意
見書を提出した。関
係悪化迄示唆した。**

岡野環境経済部長
(全文朗読)(要約)平成十
一年十月(有)幸新取材金山貢
大氏より土採取事業で約10ha・
十年の事業の申し出があった。

今回砂利採取事業に計画変更され規模も縮小されていますが、潮来市としてはこの事業の将来計画は、面積約10ha事業期間十年と捉えています。計画地には埋蔵文化財包蔵地（扇台遺跡、御殿山貝塚）が存在し隣接地には学史的にも貴重な狭間貝塚・塔の上貝塚があり貝塚はその範囲が広がる可能性を持ち、周辺の景観保全も重要であり、これに隣接する開発は絶対に避けるべきです。また一段と学校用地に近くなり津知幼稚園児の送迎の安全、津知小児童、潮来一中生徒の通学安全の確保が難しい。また津知小隣接地による騒音灰塵による教育環境の悪化、危険地帯への立入りの可能性（十三年前津知小児童二名が砂利採取現場で死亡している。）が危惧されます。本事業検討の中で津知小PTAが一二一五名の署名を集めて砂利採取反対の請願が出され、平成十二年十二月十五日全会一致議会で採択されています。合併後の全協でもこれを継続することを確認しています。現在地元代表区長以下地域住民の署名による砂利採取を許さない要望書が用意され

（県提出予定）進入路には反対の看板を設置するなど反対運動が起きています。潮来市として

は砂利採取法第十九条認可の基準に照らし、地元住民、PTA、議会の意見を尊重し、地域住民の平和な生活権、環境権を守り事業者に対し進入路を含めた砂利採取事業の白紙撤回を求めます。茨城県においては、申請を許可した場合、茨城県と潮来市との信頼関係が今後損なわれる事が危惧されます。

今泉市長

以上のように単に白紙撤回を求めるのではなく、県との関係も悪くなると言い切った強い反対の意見書を出した。又県の関係者、所長とは何回も会って絶対許可しない様申し入れている。

古高入口産廃完全撤去への取り組みを

沼里議員

古高入口の柴田による産廃の大山の頂上部が県の代執行により撤去された。これ自体は正に画期的な事である。しかし、完全撤去の命令が出されているのにも拘らず柴田は一向に撤去しようとはせず逆に住民に対して挑戦するかのよう煙を出すなどしている。彼は逮捕される前にも違法行為、脅迫行為、命令無視を繰り返し、職員を拉致監禁するなど行った。どんな小さ

なことでもこれらの行為をも許さず一々告発すべきである。住民はその後の対応を強く願っている。市としては完全撤去へ向けてどう取り組んでいくか。

県代執行で一万七千方メートル撤去。全量撤去へ向け努力。煙は草刈り清掃のもの

岡野環境経済部長

先般県が行った行政代執行では産廃頂上部より一万七千方メートルを撤去した。撤去への柴田氏の妨害はなかった。今後は全量撤去へ取組んだ要求は柴田・県へ行っている。五月十日に黒い煙が出たのは産廃を燃やしたのではなく、周りの草刈り清掃をしたものを焼いたものというが注意は行った。

なぜ粗大ゴミ無料収集をやめたのか

沼里議員

容器包装リサイクル法が施行されて一年、家電リサイクル法が実施されて二ヶ月を過ぎた。ゴミ減量化、再利用推進の筈の容器包装リサイクル法施行後に、ペットボトルの生産は逆に大幅に増え（表添付）昨年の生産量は四〇万トンを超え五年前の二・三倍にもなっている。製

造者責任制が全くなっていないので、自治体が巨大な施設費と運営費を巨資のため背負わされている。これは当市で進めている二十二億以上もかけたダ

イオキシン対策施設でも言える。又本年四月から始まった家電リサイクル法では消費者が処理費や運搬費まで負担させられるという製造者責任制とは丸でアベコベの破天荒な巨資本擁護策である。ドイツではあくまで製造者、大手販売者の費用負担の原則がはっきりしており、最近ではカミソリなどの極小さな物にも製造者責任制をハッキリさせ、再利用の原則が確立している。EU議会でも徹底した製造者責任制法の制定を本年五月義務付けている。日本では不法投棄が増える様な政策ばかりとられている。何でこれまであった粗大ゴミの無料収集をなくすのか家電リサイクル法への便乗ではないか。

製造者の責任が最も大切

岡野環境経済部長

わが市のリサイクルは順調に行きゴミも一割減っている。全国的にペットボトルが年々増え続けているのは事実である。家電の方は買い換えが行われたば

かりで不法投棄増はない。やはり製造者責任制の確立が大切だと思う。

（その他の質問事項）

- ◎緊急地域雇用特別基金事業への積極的取組みと継続を。
- ◎高い国保税の引下げと国保証の全員交付を。（昔やったのに）
- ◎介護「保険料」の低所得者、高齢者減免措置を。
- ◎デイサービスセンターをもう一つ早急に。
- ◎減反中止、価格保証、所得保証で日本農業を守れ。
- ◎聖域なき構造改革は、大不況、大失業、交付税削減、わが市大収入減、財政危機の道。
- ◎歴史的事実に基づかない教科書は採択するな（同感の回答）。

一般質問

平成十年オープン「潮来ふるさと館」
三年連続赤字。赤字総額千四百二十六
万九千三百三十一円

今泉 利 拓 議員



消防機庫の修理建替 えに市補助を

今泉議員

地方自治体（市）には、住民の生命財産を守るといふ大きな使命がある。今私が住んでいる下田で、老朽化した消防機庫の建替え問題が出ている。景気の良い時なら、地元の消防団のためと寄付に協力してくれた人も大勢いた筈。然し最近の経済状況の下では、寄付に協力してくれる人ばかりはいないのでないか。消防団役員は心配している。この不況という経済状況を

踏まえ、消防機庫の修理、建替えについて補助申請が出された場合、市は積極的に補助金を支給すべきだと思うが。

市負担にするか補助 か検討したい

箕輪総務部長

平成九年に、消防自動車、貯水槽、ホース、消防器材は全額町（市）が持つ事になった。消防機庫は地元負担として残った。補助が良いか、全額市負担が良いか、やる方向で検討したい。

第五十回あやめまつり 大会記念事業とは何か

今泉議員

第五十回あやめまつり大会。潮来市誕生記念を兼ねた記念事業を実施する。というがどんな事業か。来年以降につながる事業か。

観光周遊バスを四台 に増車

岡野環境経済部長

総合優勝者が、千葉テレビに

出演出来るカラオケ大会。ポストカード四千枚作成。観光周遊バスを四台に増車。この周辺バスは来年以降にもつながると思う。

再質問

今泉議員

何かの出来事をきっかけに、新しいことを思い切ってスタートさせる。この姿勢が市長はじめ執行部には求められるのではないか。私は町長就任二年目の昭和六十年、つくば科学博の年を潮来の「観光元年」と位置付け、新しいイベントづくりに努めた。五月、あやめマラソンとしてスタートしたマラソン大会。今では十二月の潮来ハーフマラソン大会として定着した。六月

のろ船観光。昭和五十九年までは機械船の観光。町は一人の職員を張りつけ六百万円支出していた。新しい方法がなければ全て民間に委託。商工会青年部の役員と知恵を出し合い、ろ船観光で新しいスタートを切る事にした。ろ船観光は今商工会青年部が担当。市は二百万円の支出ですんでいる。七月、潮来はホテルの名所。ホテル音頭を作った踊りのパレードを始めた。それが発展して今おどりの響演となっている。町民の皆さんに芸

術鑑賞の眼、心を養ってもらおうと始めた文化ふれあいバス。社会福祉協議会が自立した組織になれるよう財政基盤の強化を狙い、町民の皆さんに協力を求めて始めたチャリティーバ

ザー、チャリティーゴルフも定着した。国や県から補助ももらって学校を建てる。ふるさと館をつくる。こういう仕事もやるべきだとは思いますが、これとは別に自治体の長になる人は、自分の考え、カラーを前面に出してのイベントづくり、事業展開に積極的に取り組むべきではないか。

答弁

今泉市長

イベントには限界がある。イベント重視の観光は考えていない。そこに住む人達が誇りを持てる様な環境整備。遠来のお客様さんも喜んでもらえるような環境整備。心の環境整備も必要だと思う。

現実には議会無視。 くい違う市長所信。

今泉議員

市長は、市長所信の中で、「何よりも市民の視点に立ちながら諸施策を実施していく事が重要である」と考え、今後も市民

の皆様方のご意見や要望等を良く聞きながら、より開かれた行政運営をめざし努力して参りませ。」と述べ、わざわざ三ヶ所の所で議員への協力と理解を呼びかけている。姿勢としては大変立派だ。然し現実はどうか。十四億とも十五億ともいわれる「美術館」。町民の代表として選ばれた筈の議会に決める前に何の相談も協議もなかった。この美術館問題に象徴される様に、市長は口では、議会に「協力を」と言いながら現実には議会を無視しているように思えてならない。潮来市議会が新たなスタートを切った今、市長は議会という存在をどう考えているかがうかがう。

議員全体の信頼を得られる様努力する

今泉市長

議会無視。一切考えたことはない。ただ私の考え方が議会の皆さん方に理解してもらえない点もあるのかなあと思っている。今後は、議会全体の信頼をいただける様努力する。

潮来ふるさと館を“潮来お荷物館”にするな

要望

今泉議員

平成十三年度は、個人税が去年比五・五%、五千九百八万一千円の減。法人税、去年比十二・一%、千九百五十四万六千円の減。合計七千八百六十二万七千円の税収減の見込みと言う。今泉和町長が平成十年、オープンさせた「潮来ふるさと館」。今評判は極めて悪い。オープンの平成十年、入場者数一万八千六百三十四人。収入五百五十一万八千八百三十円、支出八百八十五万九千八百二十九円。赤字三百三十四万九千九百九十九円。平成十一年、入場者数一万六千三百九十人、収入三百七十七万八千八十円、支出九百三十三万八千二百九十四円、赤字五百三十三万二百十四円。平成十二年、入場者数一万三千四百十人、収入三百十四万四千九百二十六円、支出八百七十四万三千四百四十四円、赤字五百五十九万八千八百十八円。赤字合計千四百二十六万九千三百三十一円。市長は市長所信で、潮来ふるさと館を観光PR館と位置づけ、情報発信、提供の場とする。としているが、人も寄りつかないところがどうして情報発信の場となれるのか。入場者数は年々減る。赤字は年々増える。市はさらに大きな財政負担をしなければならなくなる。このままでは、潮来ふるさと館

でなく、「潮来お荷物館」となってしまう。ふるさと館をどうするか存続も含めて発想の転換を図られる様要望する。

芸能人の画を集めて開いた展覧会「芸能人々々の多芸展」。市の出費は六百万円、収入は二百五十九千七百円、三百九十四万三百円の赤字。この赤字の数字はもつと増えるかもしれない。市企画部長は気になる発言をしている。芸能人の画を集めて展示するという市長の美術館計画。早くも赤信号が灯った。慎重な対応を市長に望みたい。

三十四人の議員で構成される潮来市議会。決して議員が特権階級、偉い存在とは思っていない。然し、潮来でも牛堀でも議員は選挙で選ばれた住民の代表、代弁者である事だけは間違いない。市長に、より一層謙虚な姿勢で議会に協力を求め、協議すべき点は、徹底的に協議しながら市政運営に当たられるよう最後に強く要望する。



ふるさと館

- (その他の主な質問)
- ◎不況対策として、市発注工事を増やすべきと考えるが。
- ◎「これぞわが店の一品」に補助を。
- ◎水辺の街再生事業とは。水郷にふさわしい水辺空間の創造とは。
- ◎市章の制定について。

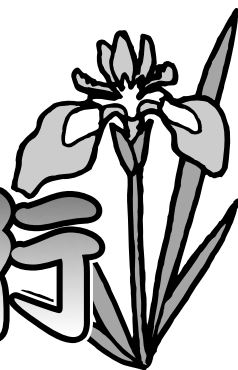
議会議員活動日誌（4～5月）

4 月		
2日	潮来市役所開所式	議長・副議長
	牛堀支所開所式	議長・副議長
	教職員定期異動辞令交付式	議長・教育福祉委員長
3日	全員協議会	全議員
	潮来市区長会総会	議長・副議長 各委員長
5日	第2回潮来市臨時会	全議員
6日	市立小学校入学式	地元議員
	社会福祉協議会総合企画委員会	議長
7日	市立中学校入学式	地元議員
8日	合併記念式典	全議員
10日	交通安全街頭キャンペーン	議長
	鳥取県町村議会議長会来庁	議長
	百里基地周辺市町村協力会総会	議長
11日	各市議会等あいさつ訪問	議長・副議長
12日	チャリティカラオケ発表会	議長
	大生殿様祭礼	副議長
	日の出地区三世代交流会	地元議員
	潮来地区さくら祭	地元議員
16日	四街道市議会来庁	議長
19日	茨城県市議会議長会定例会	議長・副議長
20日	高齢者クラブ総会	議長
	建設業組合総会	議長・各委員長
	環境経済委員会協議会	議長・環境経済委員
21日	J Aなめがた総代会	議長
23日	行方郡町村会総会	議長
24日	愛媛県伊予市議会来庁	議長
25日	悠々塾開校式	議長
	農業委員会総会	議長
	商工会青年部総会	環境経済委員長
26日	関東市議会議長会総会(～27日)	議長

5 月		
7日	議会運営委員会協議会	議会運営委員
11日	社会福祉協議会理事会	議長
12日	交通安全母の会	議長
	潮来ばやし保存会総会	副議長
14日	常任委員長会議	議長・各委員長
	総務委員会協議会	総務委員
15日	徳島県山川町議会来庁	議長
	花菖蒲協会総会	議長・環境経済委員長
16日	福島県原町市議会来庁	副議長
17日	教育福祉委員会協議会	議長・教育福祉委員
18日	クロッカー市長杯	議長
	たばこ販売組合総会	議長
	議会運営委員会	議長・議会運営委員
	交通安全協会潮来支部総会	議長
19日	あやめ祭キャンペーン（東京）	関係議員
	カシマサッカースタジアム竣工式	関係議員
21日	開発公社理事会・評議委員会	関係議員
	環境経済委員会協議会	議長・環境経済委員
22日	全国市議会議長会	議長
	島根県出雲市議会来庁	副議長
23日	商工会総代会	環境経済委員長
24日	建設委員会協議会	議長・建設委員
25日	麻生地区交通安全協会総会	議長
26日	潮来一中体育祭	地元議員
27日	潮来市身体障害者福祉協議会総会	議長・教育福祉委員長
	あやめ祭開会式	全議員
	延方地区商店街総会	議長
28日	潮来市シルバー人材センター総会	議長
	社会福祉協議会理事会	議長
29日	第2回潮来市定例会(～6月8日)	全議員

市議会主催

無料舟の運行



六月九日（土）のあやめ園ライ
トアップ開催時において、潮来市
議会主催の無料舟の運行を実施
いたしました。ろを漕ぐことの出
来る議員は、船頭となり、出来な
い議員は会場の整理案内役になり
運営いたしました。当日は、肌寒
い天候にもかかわらず多くの観光
客・市民の方（約二百五十名）が
乗船してくれました。今回で三回
目となりますが、今後とも続けて
行きますのでよろしくお願い致し
ます。



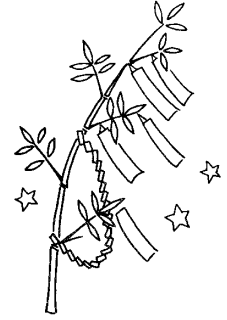
議会からのお願い

311-2493

潮来市議会議長宛

潮来市辻六二六

市議会議長あての文書・案内状などは
市議会事務局へ送付下さる
ようお願いします。



議会に請願(陳情)

される方のために

- 一、**様式** 請願書は先の様式に準じ邦文で作成してください。
- 二、**紹介議員** 請願には紹介議員が必要であり、表紙に署名又は記名・押印を受けて下さい。
- 三、**紹介議員のない場合** 議員の紹介を得られなかった方は陳情書として下さい。
- 四、**提出部数** 請願書は一部提出して下さい。
- 五、**問い合わせ** 請願手続きなどについては、議会事務局にお問い合わせ下さい。

〇〇〇〇に関する

請願書

紹介議員

氏名

署名又は

記名押印

〇年〇月〇日

潮来市議会議長殿
(提出者)

住所
氏名印

〇〇〇〇に関する請願
要旨

理由

議会を傍聴して 市の動きを知りましょう。

受け付けで住所・氏名を記入すれば
誰でも自由に傍聴できます。



議会を傍聴して



新たな「まちづくり」のために

潮来青年会議所理事長

小峰 進さん

私たち青年会議所（ＪＣ）は、「明るい豊かな社会」の実現を同じ理想とし、次代の担い手たる責任感をもった二〇歳から四〇歳までの指導者たらんとする青年の団体です。全国には約六万人のメンバーがおり、市民運動の中心となり活動を展開しています。潮来青年会議所は、本年度「新世紀に新風を愛と勇氣と感動をあなたへ」というスローガンを基に活動を展開しております。

今回、市長をはじめ市議会議員の中に、私たち青年会議所のＯＢが活躍されていることから、潮来青年会議所の研修活動の一環として、平成十三年六月一日、潮来市議会最初の定例会を傍聴させていただきました。私たちの代表者である議員の皆さんの活動は、「議会だより」等を通して知るところですが、市政の決定機関である議会そのものを傍聴したことがある方は、少ない

と思います。実際、私たちのほとんどの者が、議会を傍聴することが初めてでした。

当日は、一般通告質問の日で、直接住民の生活に関わる問題や将来の市の方向性などを議員及び市長はじめとする執行部の方々が、真剣に質疑応答されているのをまじかに見ることで、潮来市の今後の市政に明るい期待を抱きました。また、貴重な市政に関する意見、展望等を拝聴することもでき大変勉強になりました。今回議会傍聴をした青年会議所のメンバーの誰もが、有意義な研修を行うことができたと感じています。

現在、「開かれた議会」とか「住民参加」という言葉をよく耳にします。議会傍聴もその一環として考え、現在の市政を知ることこそが、住民の代表として自分たちが首長並びに議会議員に選んだ住民（有権者）としての「責務」ではないでしょうか。

か。議会のさらなる活性化、また市政の活性化のためにも、多くの市民の方々の議会傍聴を期待したいものです。

これから潮来市は、合併建設計画に基づいて、新たな「まちづくり」していくわけでありますが、長引く不況、高齢化・少子化問題、環境問題、そして青少年問題等、課題は山積みしています。また、自主財源の確保、行財政改革に積極的に取り組まなければならない時期にきていると思います。今こそ、新たな「まちづくり」のために住民が一体となり、英知と勇氣を出し合い協力すべき時だと思えます。潮来青年会議所も、この新たな「まちづくり」のために協力を惜しまず、積極的に参加させていきたいと思えます。最後になりましたが、議員並びに執行部の皆様のご健勝と今後一層のご活躍をお祈り申し上げます。



議会傍聴



新生いたことふる郷づくり

清水区長 大崎 裕久 さん

二十一世紀、期待と注目の中
潮来町と牛堀町が合併し、人口
三万二千人の水とみどり豊かな
潮来市が誕生して三カ月が過ぎ
ようとしています。

議会の皆様方には、新生潮来
のまちづくり、明るく希望に溢
れるより良い生活環境、すばら
しい自然の中、心なごむふる郷
づくり日夜努力され、議員活
動の実を上げておられることに
深く感謝申し上げます。

さて、先日、市区長会では六
十六区の区長による市内研修視
察を実施いたしました。マイク
ロバス二台で出発。縄文の面影
も残す風土記の丘、大生台地か
ら水原の田の森浄水場に向い、
係員の説明を受けて、機械・設
備等を見学。次は、し尿処理施

設、潮来衛生センター。この後、
ヘルスランドさくら、クリーン
センター、灰溶融施設と各セン
ターのすばらしい機能、利用状
況等を視察しバスをかすみの里
へと進めました。島崎氏、永山

氏の中世の城跡を望み、牛堀か
ら堀ノ内、茂木、清水、麻生町
の富田へと広がる自然のパノラ
マに見とれるひとときでした。
グランドの広さ、芝のみどりに
も、スポーツに励み、楽しみ、
リラックスできる場と感じまし
た。

その頃より雨も降り出してき
たので予定を繰り上げて、あや
め祭でにぎわう潮来ふるさと館
で水郷潮来を味わい、視察を終
りました。

その後、市長、議長、市の幹

部職員、議会常任委員長、その
他関係機関の代表等々との懇親
の場が設けられ貴重な意見の交
換ができました。

研修を通じて感じたことは、
自然を大切に、地域住民の多
様なニーズにこたえ、広い視野
から市全体にわたる活性化が大
切だと思いました。

新生いたこの輝かしい未来、
ぬくもりのあるふる郷づくりに
は、議会に大きく期待するとこ
ろです。議会だより臨時号掲載
の議員三十四名の皆様方のすば
らしい抱負が一つでも多く実現
することを目指し、今後の議会
活動に一層のご活躍をお願いい
たします。

お詫びと訂正

四月発行の議会だより臨時号の中の議員紹介の欄
で誤りがありましたので、次のように訂正し再度掲
載いたします。



26番 粟飯原 治雄

- ①上戸256-2
- ②昭和19年11月16日
- ③4回
- ④無所属

- ⑤総務委員会
- ⑥前潮来牛堀合併調査特別委員長として建設計画の
進め方と新生潮来市の発展と生活向上に努力して
行きます。

編集後記

合併後、初めてこの定例議会
が終了しました。特例市として
新しくスタートした潮来市は、
恵まれた自然と風光明媚な水と
緑の豊かな市であります。

今、経済が低迷している中、
又、犯罪が多発している今日、
議会も知恵を出し合い即応した
施策に努めなければと考えます。
「議会だより」も市民の情報紙
として愛されるように努めます。

より一層のご愛読をお願い致
します。(H・O)

議会広報編集委員会

委員 長	山 沢	三 千 子
副委員 長	今 泉	利 拓
委 員	内 田	正 一
委 員	根 本	又 男
委 員	加 藤	政 司
委 員	藤 崎	忠 徳
委 員	大 久 保	英 雄